



国際協力とみんなの日常

あけましておめでとうございます。2024年は年始から心痛ましい出来事が続き、不安な気持ちを抱えている人もいるかもしれません。パラオでも『日本、大変だったね。』『家族や友だちは大丈夫？』と色んな人に声をかけてもらいました。通常、パラオから日本へ電話をかける際には国際電話料金がかかりますが、1月3日から7日までは家族や友人に安否確認などができるようにと無料でかけられるようになっていました。

パラオに来てから、様々な職種の方との出会いがあります。そのたびに思うことは、『知識は人生を豊かにするための道具なのだ』ということです。知識と言うと、勉強しろってことなんでしょ？と思われるかもしれませんが、勉強だけに限らず、例えば、けん玉やギター、料理など何か得意なことやできることも含まれます。また、大切なことはそういった知識や特技をいつ、どこで、どうやって、だれに、使うかということです。道具は正しく使えないとうまく機能しません。後ほど紹介する藤さんは、化学の知識が豊富な方で、その知識をパラオの環境保全のために用いて、色んな人の人生を豊かにしています。

中学生のみなさんは、今からいくらでもその知識を増やすことができます。勉強に力を入れることも、好きなものを突き詰めることも、今までやっていなかったことに挑戦することも、みなさんの（後々には色んな人の）人生を豊かにする道具になるかもしれません。新たな1年、素敵な1年にしましょう♪

【パラオ日記】

★今年はパラオと日本が外交関係樹立30周年を迎えるということで、1月に日本文化を紹介するイベントが行われ、JICA ボランティアも参加しました。私たちは『福笑い』と去年に引き続き『盆踊り』を実践。当初は福笑いの面白さがパラオの人たちにも伝わるかな…と心配で、『笑う門には福来る』ということわざを引き合いに福笑いが完成したらみんなで笑いましょう！と声をかけていましたが、パラオの人たちは福笑いの実践中にも声をあげて大爆笑！会場全体が温かい笑いに包まれていました。日本の文化を楽しんでくれて、とても嬉しかったです。



★先日、エコ・グラスセンターで念願のグラスづくりに挑戦してきました。見ているよりも断然難しく、1人ではなかなか上手にできませんでしたが、パラオ人スタッフのNyssaさんが優しくサポートしてくれました。Nyssaさんはガラス工芸を始めて5年ということでしたが、スキルを習得するまでに1年ほどかかったそうです。今では、自分がつくった作品が商品として売られていることが嬉しく、日々誇りをもって仕事に取り組んでいるとのことでした。



パラオには、どんな日本人がいるの？ part2

パラオには、約 250 人の日本人が住んでいます。その中でも、レジェンドとしてパラオで 20 年以上活躍されているのがコロール州のリサイクルセンターで働かれている藤さんです。藤さんは今年 **80 歳**！日本では環境部門のエンジニアや会社経営などを経験され、60 歳を機に退職して JICA のシニアボランティアとしてパラオで活動を開始。任期終了後もパラオに戻り、独自のアイデアでパラオの廃棄物処理のために尽力されています。そういった活動が日本政府から認められ、令和 3 年に旭日単光章を受賞されました。現在も日本語補習校の校長先生を勤めながら、コロール州政府のコンサルタントとして活躍されています。



★藤さんの取り組みその 1：コンポスト（生ごみなどから肥料をつくること）

★その 2：飲料ペットボトルや空き缶の回収



リサイクルセンターに持ち込むと、1本5セントが支払われます。この方法で90%の缶・ペットボトルが回収されるようになったそうです。

★その 3：廃プラスチックからバイオディーゼル燃料産出



機械は日本からの支援で導入されました。



★その 4：廃ガラスからガラス工芸品の製作、販売



／廃ガラスを溶かすために、廃プラスチックから産出した燃料を使っています。＼



第 13 号で紹介したように、パラオにはごみの焼却施設はないため、ゴミステバにそのまま捨てられます。そのごみを減らし、リサイクルするために、藤さんをはじめリサイクルセンターの方々には使命感をもって働かれています。

藤さんがシニアボランティアとして活動し始めた頃、リサイクルセンターには藤さんとカウンターパート（一緒に活動する同僚）しかいなかったそうですが、今では 80 人ほどが働く施設にまでなったそうです。パラオは小さな国なので、誇りをもって働ける場所が少なく、優秀な人材がアメリカなどに流れてしまっているのも課題です。その中で、やりがいをもって働ける場所、雇用をつくることも藤さんの狙いだったそうです。パラオの人たちのために、熱い情熱をもって働かれている姿に感動しました。

